

# 保安 処分 高杉氏が講演

## 「地域管理網」—治安の強化に

二十一日「保安処分粉砕講演集」が明大強任対策委員会・二部  
教対会幹の共催により、午後六時  
半から本校五号館五〇二番教室  
で開催された。講師は高杉眞吾  
氏を招き、一時間半にわたって  
講演、その後、参加者と共に十  
時頃まで白熱した討論を展開し  
た。

八〇余名の学友を前に、本集会  
を主催する学友から発言があり、  
「刑法改悪—保安処分攻撃の意図  
またその中で何を問題として行か  
ねばならないのか」といった認識  
運動にとどまるところなく現実の  
実践—保安処分体制粉砕に向けた闘  
いと、いかに結合させるのかを基  
軸にして本集会を進めて行きた  
い」とアピール。続いて講演が  
始まった。

まず現代資本社会での国家権力  
の延命は効率的生産性向上にかか  
って進んで、それには労働力の

大規模増強が迫られる。われわれは

そこに労働力にはとらわれない人間  
を切り捨てて行く運動を見ること  
が出来た。精神衛生法二十九条の  
利用といった権力の先取りのな施  
行は、メンタルの精神者家庭の  
悲劇—なびていった福祉・医療施  
設拡充に向けた一連のキャンペーン、  
精神青年が当時のミンシャロ  
ー大使に暴行するといったことを  
契機とした刑法改悪案化、なびて  
よる大衆のヘチオロキー権を見  
る時、すでに相対進行してしまっ  
てしまっている。「保安処分」立法  
化とは、権力が「危険な精神病質  
者の犯罪から社会を守る」という  
一見真論なきような装いで一層の  
人民抑圧と生存権のハク奪を図る  
ものに他ならない。すなわち、権  
力が現代管理社会の矛盾を、国家  
統制の強化と刑事特別法—保安処  
分との結合で乗り切ろうとしてい  
ることを高杉氏は指摘してしまっ  
た。

先に述べた福祉・医療施設整備  
キャンペーンは「地域管理網」の  
確立、すなわち警察—保健所—精  
神病院を軸にした地域末端にもよ  
る治安の強化の中で出されてい  
った。

このように、現代管理社会にお  
ける差別構造（エリート・管理層  
—中間労働者層—庶民層）は、市  
民社会の同質性の中へ形はなれ  
てしまっている。この状況で、東海で  
看守の暴行により記録喪失になっ  
た一反敵労働者が鑑定留置となり  
精神病院で強制収容されたことが  
語られた。

刑法改悪の一連の動きを捉える  
なら、その時々々の情況に一切きり  
離され、立法化されるものがある  
らう。それらも、われわれの政  
議機構が鋭く問わねばならない。な  
んの返り訴えがなされた。